

藤井宮正 ふじみやう 佛敎學者。安政八年(二月)百越後國生れ、明治二十
六年(八月)六日歿(八五—七〇三)。幼谷幸丸。號愛棟仙士。真言寺勸導
藤井宮界の次男。本願寺文學部教授を経て、明治二十八年埼玉縣第一
尋常中學校校長と、本山の命で歐洲留學。のち大谷光瑞のインド佛蹟
調査に參加。タルセイエと客死。

續稿「愛棟全集」(鳥地大等編、明治二十九年十一月)白森江書店・

鶴聲堂書店)。